

令和4年
第122号
7月28日発行

ゆがわ 議会だより

News from

Yugawa-village

assembly



勝常小学校



勝常小学校



笈川小学校



今年も
田植えを
したよ～

湯川中学校

主な内容

表紙：小中学校田植え風景

- ◆ 6月定例会提出議案審議 P 2～3
- ◆ 一般質問（8議員が村政を問う）..... P 4～11
- ◆ 議会の主な動き・編集後記 P 12

安定した事業運営を目指して 国民健康保険税率の見直し

6月 定例会

第552回定例会

一般質問

国民健康保険税率（前年度比較表）

		令和3年度	令和4年度	比較
医療 給付費分	所得割	6.60%	5.86%	▲0.74%
	均等割	24,200円	20,900円	▲3,300円
	平等割	21,200円	18,100円	▲3,100円
後期高齢者 支援金分	所得割	3.44%	3.55%	0.11%
	均等割	11,700円	11,700円	0円
	平等割	10,200円	10,200円	0円
介護 納付金分	所得割	4.79%	2.80%	▲1.99%
	均等割	19,700円	13,900円	▲5,800円
	平等割	11,600円	8,100円	▲3,500円

		令和3年度	令和4年度	増減率
国民健康保険税（総額）		78,483千円	66,139千円	84.27%

※令和3年度の所得に対して、令和3年度と令和4年度の税率をそれぞれ計算した合計額

6月定例会が6月14日から17日まで4日間の会期で開催されました。
村長から提案された令和4年度一般会計補正予算（第1号）をはじめ、国民健康保険税条例改正、令和4年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）など、5件が審議され、全議

案可決されました。

また、16日・17日の2日間行われた一般質問には、8名が登壇し三澤村政について問いました。
さらに、議員提出議案1件が提案され、賛成多数で可決となりました。

前年度比約16%引き下げ

議案第24号 湯川村国民健康保険税条例の一部を改正する条例

被保険者の所得が確定したことを受け、算定した結果、適正かつ安定的な国民健康保険の事業運営ができるように税率等を見直す必要があることから条例の一部を改正するものです。

国保事業は、県が示す標準保険料率を参考に、事業に要する費用等を積算し、事業に係る収入を差し引いた額を国民健康保険税で賄う必要があります。

現行の税率から今回の改正により引き下げとなり、予算額の前年度比△15.73%となり、今年度の国民健康保険税額が決まることとなります。

新型コロナウイルス
ワクチン接種の体制が整う

議案第25号 令和4年度湯川村一般会計補正予算（第1号）

一般会計当初予算が原案通りに可決されました。

その中で、子育て世帯生活支援特別給付金250万円、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業交付金1,764万円が可決されました。



第552回 6月定例会における議員の賛否の公表

(湯川村議会基本条例第4条6項に基づき公表いたします。)

議案 番号	件 名	賛否	廣 川 文 夫	伊 藤 幸 喜	小 沢 甲 市	片 桐 英 子	三 澤 榮 三	高 倉 好 博	小 野 澄 雄	篠 竹 正 弘	齋 藤 賢 一
22	専決処分承認を求めることについて (令和3年度湯川村一般会計補正予算(専決第1号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
23	専決処分承認を求めることについて (湯川村税条例等の一部を改正する条例について)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
24	湯川村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
25	令和4年度湯川村一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
26	令和4年度湯川村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議員提出 3号	「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」について	可決	○	○	○	○	○	○	○	×	議長

*「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、「退」は退席、議長は議決に加わらないため議長裁決以外は「議長」と表記。

議員提出議案第3号

国の「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、被災児童の十分な就学支援を求める意見書 **可決**

◆意見書の内容

東日本大震災で被災をし、経済的理由により就学等が困難な子どもを対象に、「被災児童生徒就学支援等事業」が全額国庫負担の単年度交付金事業として行われていますが、令和5年度においても、全額国庫で支援する「被災児童生徒就学支援等事業」の継続し、十分な就学支援に必要な予算確保を行うことを求める内容です。

ここが聞きたい！8名の議員が一般質問

P④	3番 小沢 甲市 議員 (1) ㈱会津湯川ファームの今年度計画について (2) 村内の家庭ごみの発生量について
P⑤	2番 伊藤 幸喜 議員 (1) 職務の設置について (2) 教育委員会施設について (3) 本村が管理している施設、村道の管理について
P⑥	4番 片桐 英子 議員 (1) 諸物価高騰による給食費への影響とその対策について (2) 介護保険料や国保税への対策について (3) 再生産できる農家の育成について (4) ごみ減量対策について
P⑦	1番 廣川 文夫 議員 (1) 米価下落に伴い、農家への更なる支援について (2) 湯川ファームの現状と今後について (3) 小学校統合について (4) 湯川村の環境美化について (5) 村の活性化について
P⑧	5番 三澤 榮三 議員 (1) 勝常寺薬師堂の屋根葺替工事で剥がされた銅板の再利用について (2) 村の小中学校の英語力の向上について (3) 村内で民間業者が宅地開発事業を行っている事について

P⑨	6番 高倉 好博 議員 (1) 村長公用車について (2) 新型コロナウイルス感染症について (3) 環境教育事業について
P⑩	8番 篠竹 正弘 議員 (1) 防災の取組みについて (2) 資源回収について
P⑪	7番 小野 澄雄 議員 (1) 政策課題に対する取組みについて

※一般質問とは

一般質問は、村の行政全般（一般事務）に関し、執行者所見や疑義について質問できるものです。質問する議員も受ける執行機関も十分な時間が必要なことから通告制とし、事前に質問内容を通告することとしています。質問時間は一人につき質問・答弁を含めおよそ一時間で完了することとされています。再質問からは一問一答方式が採用されており、時間内であれば何度も質問できます。

※一般質問は村議会ホームページの録画中継によって見ることもできます。



村政を問う 一般質問

6月定例会

小沢 甲市
議員



(株)会津湯川ファームの 今年度計画について

問 (株)会津湯川ファームの計画は今年度が最終年度となるが、計画達成についての考えを伺う。

答 担い手農家の高齢化が進んでいるため、今後セーフティーネットとしての役割を果たすことが大事であり、農地を守っていく役割について、JA組合長と話をさせていただいた。

今後、需給状況、米価の変動、人的な面等JAの協力を得て経営基盤をしっかりとしていく。

問 育苗のためのビニールハウス、事務所、農機具格納庫等の施設設置の取組はどうするのか伺う。

答 契約面積が増え、経営の中で育苗は大変重要と考えており、ビニールハウスが優先と考える。また、様々な選択肢はあるかと思うので、今後検討した

いと考えている。事務所や格納庫は、「JA選果場を使用させていただいては」との意見がございましたので、話し合いをしたいと思っています。

問 地域おこし協力隊が(株)会津湯川ファームで研修しているが、期間内に何を学び、目標達成するまでの教育や指導は、誰がどのような方法で行うのか伺う。

答 今年度は会津湯川ファームで週3日稲作を学び、その後野菜栽培等を体験しながら自分の農業に取り組み、定住できるように十分サポートしていきたいと思っています。

村内の家庭ごみの発生量について

問 村内においては、ごみの発生量が年々増加している。特に生ごみが増加している要因は何か。また、その対策を伺う。

答 令和3年度にごみの減量実施計画を作成、更に今年度計画を変更し、事業を実施しているところであります。燃やせるごみの量は年々増加しており、村は古着の無料回収や資源物の分別促進、コンポスト容器設置補助、電動生ごみ処理器の購入補助を行っております。また、食品ロス改善について今後周知していきたいと思っています。



古着回収が行われる様子

答 福島県業務用ごみ処理機設置事業を行っている大変有効な事業と考えております。村ではコンポスト容器、電動生ごみ処理機の購入補助や段ボールコンポストの取組について考え参ります。

問 コンポスト容器設置は悪臭を嫌う方が多く、また、設置場所が確保出来ない方の対策について考えを伺う。

答 悪臭対策、設置場所等については、調査研究していきます。



上記QRから動画で
ご覧になれます。



村政を問う

一般質問

6月定例会

伊藤 幸喜
議員

職務の設置について

問

本年度の人事で教育次長兼課長職の辞令をしたが、教育次長職を残した理由を伺う。

答

教育長の補佐役及び秘書役として、保育所・幼稚園・小中学校・公民館等多くの出先機関の広範囲に及ぶ事務事業を調整し、指導監督をする教育委員会全般の事務を所掌する職が必要であるためです。

問

社会教育課長兼公民館長の役割は本村の公共施設の整備検討を担うとされたが、今後は専門部署を設置し、建築設備の専門知識を持った職員が対応した方が良いのではないかと伺う。

答

社会教育課長の役割としては、社会教育事業、公民館等を含めた公共施設の在り方について、庁内検討会のリーダーとしての役割もあります。また、専門職員の雇用は人件費的にも余裕はなく、今後も各課管理の施設はそれぞれ各課対応して行きます。

教育委員会施設について

問

本村の各教育施設も経年劣化が目立つようになってきたが、特に両小学校のプール施設の安全対策と老朽施設の安全点検はどのように実施しているか伺う。

答

建設から年月が経過し、老朽化が進んでいる現状です。改修は多額の経費を要することから、村財政負担と安全確保を総合的に判断し、管理・施設・財政計画に改修工事を位置付けて緊急性の高い箇所から実施しているところであります。

問

老朽化した両小学校を今後、小規模ながらも統合はせず維持して行くのか、それとも統合して小中一貫校を目指すのか、子ども達の5年後10年後の教育環境をどう考えているのか伺う。

答

教育行政に関わる大きな事であり、現在小規模ながらも施設は整っています。しかし、今後の子ども達の人数の推移や村の計画を考慮し、検討しなくてはなりません。今すぐの統合はないと思っています。

問

村民の方から意見を伺う、小学校適正規模・配置検討委員会設置の考えはあるのか伺う。

【教育長答弁】**答**

学校統合や小中一貫教育等を視察検討した中で考えなくてはならない大きな課題と思います。村民の方からも広く意見を伺う場は必要と思っています。

問

幼稚園園庭内の築山撤去について、保護者や評議委員の方から意見を伺っているのか伺う。

答

築山撤去については多くの方々から意見が寄せられていますので、今後検討して行きます。

本村が管理している施設、村道の管理について

問

地域おこし協力隊の受け入れ体制、また浜崎地区の移住体験施設に、元住民の生活日用品がそのまま残っているがどのような賃貸契約、施設管理をしているのか、また、ゆがわ幼稚園西側の横断歩道のペイントはいつになるのか伺う。

答

契約期間は10年間です。施設管理については不十分であり、修繕し、対応したところであります。今後は使用者のご意見を聞き管理していきます。

横断歩道の塗り直しにつきましては、公安委員会が施工いたしますが、横断歩道や道路標識等は安全確保のため早急に対応していただけるよう要望して参ります。



上記QRから
動画でご覧
いただけます。

村政を問う

一般質問

6月定例会

片桐 英子
議員

諸物価高騰による給食費への影響とその対策について

問

輸入小麦政府売り渡し価格の上昇が17%となり、パン・麺をはじめ様々な食料費や燃料費等の値上げが懸念される。既に報道では給食費を値上げた自治体もあるようだが、本村の給食費への影響と対策について伺う。

答

材料費の値上げによる食料品質や量を減らすことはせず、給食費を値上げして保護者から負担していただくことはなく、値上がり分は村が負担します。小中学校、保育所、幼稚園を同様の対応とします。

介護保険料や国保税への対策について

問

第8期介護保険料は県内でも高位にある。また、国保税も年度により医療費が大幅に変化したりするが、高額な状況が続いている。様々な対策はとられているが、更なる取り組みはできないか伺う。

答

介護保険料については、第8期（令和3年～5年）計画期間内に基金積立を行い、平準化を図り、大幅に保険料が上がるということがないようにします。国保税については、税負担に繋がる医療給付費の抑制のため、住民健診後の保健指導等により重症化しないよう努めてまいります。

問

住民健診の受診率には高いが保健指導については低く、重症化を防ぐためにもスタッフの増員はできないか伺う。

答

保健師は保健センターに2名、地域包括支援センターに1名配置され、保健指導にあたっております。更に管理栄養士を会計年度任用職員として採用しており、医療機関から管理栄養士の派遣を依頼し健診結果を踏まえ栄養指導を行って行く予定です。

問

生活支援コーディネーターを地域包括支援センターに配置できないか伺う。

答

生活支援体制整備事業は現在、生活支援コーディネーターがいる社会福祉協議会へ委託しており「さすけね会」を立ち上げ買い物支援等のボランティア活動を行っています。

再生産できる農家の育成について

問

これまでも農家支援対策はとられているが、2年続きの米価下落や生産費の高騰で米作りをやめようと考えている農家もあるようだ。湯川ファーム設立時の農家へのアンケートと、現在の状況はかなり変化しているので、その他の方法で再生産できる支援はないか伺う。

答

令和4年度において、「生産意欲向上支援対策事業」により、種もみ購入、肥料購入に反当り4,100円の補助、「中小農家経営継続支援事業」により農機具購入補助を行い、経営支援を行ってまいります。

ごみ減量対策について

問

新ごみ焼却施設完成の2025年が迫っている。減量実施計画が作成されたが、具体的取り組みを村民に提示し行動できるようにするまでの支援が早急に求められると考えているが見解を伺う。

答

「ごみ減量実施計画」は各戸へ配付させていただきましたが、これからは、ごみの出し方、分別方法について写真を掲載した「ちらし」を作成し配付します。また、集落への出前講座を計画しております。



上記QRから動画で
ご覧になれます。

村政を問う

一般質問

6月定例会



廣川 文夫
議員

米価下落に伴い、農家への更なる支援について

問 米価下落に伴い農家所得が大幅に減少し、原価割れしている状態である。農家の再生産意欲が増すような更なる追加支援をどう考えているか伺う。

答 令和4年度において、「生産意欲向上支援対策事業」を実施しますが、現在、作付け面積を集計しており、なるべく早く交付したいと思います。

湯川ファームの現状と今後について

問 令和4年5月現在の経営状況はどうなっているのか。また、今後はそれに伴い、施設整備、農業機械整備等について、具体的にいつごろ整備する考えか伺う。

答 第4期の売上高は約1751万円で前期と比較すると109.7%の増となりましたが、当

期準損失金額は約741万円となりました。

施設や農業機械の整備等については、本年中に事業運営計画書を策定し検討して参ります。

小学校統合について

問 少子高齢化の中で両小学校も少人数学級になって、教育環境が悪化している。これに対して教育長は統合をどう考えているか伺う。

【教育長答弁】

答 小学校については、各学年とも1クラス単式学級であり、少人数の小規模校であります。今後の児童数の推移は現在の状況が続き、令和10年度までは複式学級になることはないと思います。

小規模校では「子ども一人ひとりに目が行き届き個人に応じたきめ細やかな指導がしやすい」「個々の特性をお互いによく理解しており、人間関係が深まりやすい」といったメリットも

あります。

統合については、将来を見据えた長期展望に立ち、保護者や地域住民、議員の皆さんなど多くの方々の意向を伺う機会を設け、検討を進めて参りたいと思います。

湯川村の環境美化について

問 今後の村の河川環境整備図られたが、旧湯川下流の河川堤防管理道路が雑草により車が通れない状況にある。村はどう考えているか伺う。



栗ノ宮橋下流の状況

答

福島県の管理となりますが、災害時の通行ができない状況では不適切だと思いますので、雑草等の管理について確認したいと思います。

村の活性化について

問 道の駅を核として村内に人を呼び込むような計画はあるか伺う。

答

今年度は、「人の駅・川の駅・道の駅」協議会の事業で道の駅を発着として周遊するサイクリングの実証事業を行います。村では、道の駅をとりまく地域環境が変化していく中で様々な事業を検討企画し、活性化に繋げて参りたいと考えています。



上記QRから動画で
ご覧になれます。

村政を問う 一般質問

6月定例会

三澤 榮三
議員



勝常寺薬師堂の屋根葺き 替え工事で剥がされた銅 板の再利用について

問

本年5月頃から国の重要文化財である勝常寺中央薬師堂の屋根葺き替え工事が始まった。村からの補助金が出されている。このことについて多くの村民は関心を寄せている。この修理事業は、どのような経緯で至ったのか、また、薬師堂の屋根は、銅板葺きであり、大変価値が高いと思う。これを買戻し村の発展のため利活用したらいいと思うが考えを伺う。

答

平成24・28年の2回雨漏りがあり、文化庁の建造物専門調査官による現地指導を受け、耐用年数に達し、銅板に亀裂があり、拡大している可能性があるとの指摘を受けたことから、確認調査を実施し、修理工事を施工することとなりました。

銅板の再利用については、工事は宗教法人勝常寺が事

業主体であり、工事費中に売却益を見込んでおりますので、村が買い戻すことはできないが、勝常集落「角屋」からの利活用の相談があることから施工会社と話し合いを行っているところです。

村の小中学校の英語 力の向上について

問

先日、新聞で公立小中高を対象とした昨年度の英語教育状況が公表された。その結果、英検三級以上が政府目標50%であった。本県においては目標を下回っている。

村の小中学校の児童生徒の成績は県下何位で、英語授業はどのように進めているか。また、教育委員会等の会議の対応について伺う。

答

市町村ごとの順位は公表されておりません。

授業は小学校3・4年生が外国語活動、5・6年生は外国語科が導入されAL

T2名体制とし、幼少期から外国人や外国語に触れる機会を持ち語学力向上と外国文化に触れる教育環境の提供をしています。また、中学生の英語検定受験料を助成し、「英検3級」以上の取得率は62.5%と全国平均値を上回っております。会議の対応については、「学力向上推進会議」を開催し、授業研究や協議・研修を実施し、教職員の資質向上活動を行っております。

村内で民間業者が宅 地開発事業を行っている 事について

問

昨年4月頃から、下樽川地区内の田圃を宅地に造成して住宅建設すること、現在工事が進めています。この開発事業は、大事業だと思うが、村としてどのように対応しているか伺う。

答

下樽川集落西側に、民間事業者により、9区画の建売住宅

分譲用地の整備が進められております。

村は、様々な法令に基づく手続きを進めており、今後事業者の協議依頼や意向を踏まえ、適切な対応と支援を行ってまいります。



下樽川集落西側建売分譲地



上記QRから動画で
ご覧になれます。

村政を問う

一般質問

6月定例会

高倉 好博
議員

村長公用車について

問 村長が使用している公用車の使用頻度及び専属運転手の必要性について、年間の使用日数は何日か。

答 また、主な先行について新型コロナウイルス感染症がまだ流行していなかった令和元年度と、流行していた令和3年度の2ヶ年の実績を伺う。

答 令和元年度における使用日数は189日で、行先は会津若松市が1/3を占めておりました。令和3年度におきましては、使用日数が117日で会津若松市が最も多く次いで会津坂下町でありました。

問 自動車の経費や運転手の経費等年間の維持管理経費はいくらか。令和元年度と令和3年度の2ヶ年の実績を伺う。

答 令和元年度・3年度同じく、リース料は月7万円程度、運転手の人件費は給与の額は250万円、令和3年度におきま

しては保険料等共済費が90万円でありました。

問 公用車及び専属運転手の必要性をどう考えているか伺う。

答 対外的な公務が多い首長が安全に効率的に移動するために必要であります。

新型コロナウイルス感染症について

問 ワクチン接種の現状と課題は何か伺う。

答 接種率は6月4日現在、全体で66.5%、3回目が76.3%であり、40歳代より若い世代は徐々に低くなっている現状です。

問 子供の集団感染が、問題になっているが、学校、幼稚園、保育所、学童保育での陽性者が発生した場合の対応はどうなっているか。特に情報共有とPCR検査はどうしているか。

答 教育施設において感染者が確認された場合には、速やかに教育委員会に連絡をいただき、各教育機関と情報共有し、対策本部との連携を踏っておりませんが、PCR検査や抗原検査の簡易キットを各家庭へ配布することは行っておりません。

問 環境教育事業の推進についての各学校における取組は何か。また、学校施設を環境に配慮した施設に向けて、改修等の計画はあるか。

答 環境教育は学習指導要領に盛り込まれており、村では、自然体験活動、森林環境学習、農業体験学習等を実施しています。

問 また、学校では、牛乳パックのリサイクル、エコキヤップの回収を行い児童生徒が事業に参加し、環境を考えるきっかけとなっています。施設改修計画につきま

しては、現在、小中学校屋上



上記QRから動画で
ご覧になれます。



校舎の屋上に設置された太陽光パネルと
制御モニター

にソーラーパネルが設置されており、その発電量を確かめ、自然エネルギーを実感できております。その他、網戸をすでに設置し、CO2削減に努めております。

村政を問う 一般質問

6月定例会

篠竹 正弘
議員



防災の取組みについて

問

雨の季節を迎え、近年各地で大雨被害が発生しています。防災や危機管理は女性目線でも必要と思われます。担当する部署の女性職員の状況、体制について伺います。

答

体制は課長以下8名であり、男性5名、女性3名であります。村では「湯川村職員災害時初動マニュアル」により災害対応にあたることとしております。

問

コロナ禍により避難場所・避難所のほか、車中での避難や待機をする時代になった。改めて住民へ持出品・備蓄品の備えの周知が必要ではないか、また、救援物資等提供の協定は締結しているのか伺う。

答

持出品・備蓄品の点検については周知しております。また、コロナ禍での感染症対策物品も村では備蓄しておりますが、各世帯においても準備について継続的に周知してまいります。

資源回収について

問

資源回収について、特に缶・段ボール・新聞・雑誌・雑紙・ペットボトル等に関し、役場周辺に回収ボックスを設置し、雑収入の増にもなる資源回収事業に取り組むことは出来ないか伺う。

答

役場周辺での資源回収場所の設置は、場所・管理体制の確保・費用対効果の面で課題があり、ペットボトル等コンテナに入りきれなかった集落には、大きなコンテナを提供し対応しております。

問

各世帯に資源ごみ、雑誌・燃えるゴミ、燃えないゴミを分けて入れる収納ボックス等を配布し、村民ぐるみでごみ分類・資源の意識を高めることにつながることは出来ないか伺う。

答

令和7年までのごみの量2割削減はかなり厳しいことではありますが、古紙の分別では雑がみの分別収集を重点施策とし、モデル事業の実施や分類表の作成で、村民の減量に対する意識高揚を図っていきます。

問

ごみ減量は大人だけでなく、子ども達への啓蒙も必要と思われるが取り組みについて伺う。

答

子ども、大人、村民全体の意識が変わるよう周知して参ります。



上記QRから動画で
ご覧になれます。



古紙の出し方の一例

村政を問う

一般質問

6月定例会

小野 澄雄
議員

政策課題に対する取組みについて

①農業所得対策について
伺う。

問

米価下落が続く中、米の再生産が不可能となる価格となり、リタイヤ、大規模農家の経営破綻に繋がり、地域農業の崩壊を招き兼ねません。村の農業所得対策について伺う。

答

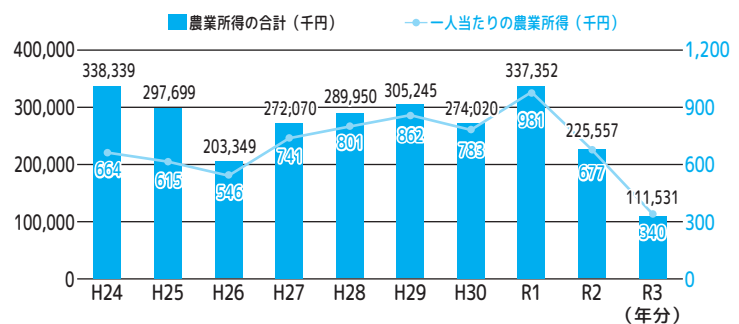
村内の農業所得は激減しており、非常に厳しい状況であります。要因は外食産業の停滞と在庫増加、経費の高止まりが重なったことによると推察します。

村は、緊急対策として「生産意欲向上支援対策事業」を実施します。今後更に下落となれば、支援策を検討いたします。

【提案】

地域の差別化・ブランド化に繋げる事が重要である。その為にも、国の推奨している「みどりの戦略（環境負荷低減事業）」である有機肥料や有機質30%以上を含む化学肥料への支援を実施すべきと考える。

湯川村 農業所得の推移



②公共下水道施設の浸水対策について伺う。

問

近年の地球温暖化による豪雨災害対策が義務付けられました。村の浸水対策について伺う。

答

下水処理場は重要なライフラインであり耐水化を早急に進める必要があります。対策方法は、嵩上げ、止水版の設置、貫通部の止水

等対策は必要で、揚水機能に係る施設を5年程度、消毒機能に係る施設を5年から10年程度内に実施する整備計画であります。

問

下水道施設は、ストックマネジメント方式で維持管理されています。しかし、老朽化が目立ち修理が増えております。又、下水道事業経営戦略計画書においても、処理開始30年後を目標に（令和15年）統廃合を謳っております。

耐水化計画と合わせて、下水道施設の統廃合をも検討すべきでないか。

答

検討してまいります。

問

③デイサービスセンターの浴室タイル破損の原因究明と今後の改修整備について伺う。

答

浴槽設備が一部利用できず、利用者がサービスを受けることができない状態から、早急に修繕工事を行ったところであり、破損原因の調査を行ったところ、床タイルの

問

デイサービスセンターも開設から22年、保健センターは33年・高齢者コミュニティセンターは41年が経過し、老朽化が進んでいます。又、団塊の世代が75歳以上を迎える令和7年以降には（2025年問題）これら施設は、更に重要性を帯びてきます。今後、総合的な整備を検討すべきでないか。

答

福祉施設は老朽化が進んでおりますが、さまざまなニーズに対応しなければならぬと思っております。整備については今後検討します。



上記QRから動画で
ご覧になれます。

湯川村議会の主な動き

- 4月 6日 会津若松熱塩加納自転車道促進期成同盟会決算監査
7日 両沼地方町村議会議長会臨時総会
8日 会津総合開発協議会会津若松地方部会役員会
会津総合開発協議会役員会
18日 広報広聴委員会
25日 会津総合開発協議会会津若松地方部会定例総会
会津総合開発協議会定例総会
26日 例月出納検査
27日 議会全員協議会
総務文教常任委員会
5月 9日 県町村議会議長会理事・監事合同会議
12日 会津総合開発協議会国出先機関要望会
18日 広域市町村圏整備組合議会臨時会
広域市町村圏整備組合議会全員協議会
26日 会津総合開発協議会本省庁要望会
30日 全国町村議会議長会 議長・副議長研修会 **写真**
31日 例月出納検査
6月 1日 勝常寺薬師堂屋根修理工事現場視察 **写真**
3日 県町村議会議長会定期総会
両沼地方町村議会議長会臨時総会
7日 議会運営委員会
議会全員協議会
経済常任委員会
14日 第552回湯川村議会定例会
～17日
27日 例月出納検査
30日 広報研修会 **写真**
7月 4日 会津総合開発協議会役員会
6日 議会全員協議会
7日 総務文教常任委員会所管事務調査（猪苗代町）
8日 両沼地方町村議会議員交流事業講演会 **写真**
11日 経済常任委員会所管事務調査（昭和村）
12日 広域市町村圏整備組合議会行政調査
～14日
20日 議会運営委員会
広報広聴委員会
21日 会津総合開発協議会本省庁要望会及び顧問国会議員要望会
25日 第553回湯川村議会臨時会



全国町村議会議長・副議長研修会



勝常寺薬師堂屋根修理工事現場視察



広報研修会



両沼地方町村議会議員交流事業講演会

議会広報広聴委員会

廣伊小 三 篠
川藤沢 委 副 竹
文幸甲 員 正
夫喜市 三 弘

田植えが終わり、水田の苗が成長し、緑の絨毯を敷いたように、美しい景観になりました。米価は昨年度大幅に下落し、生産農家の経営に影響を及ぼしています。また、更に、ロシアのウクライナ軍事侵攻により物価が急上昇し、中でも肥料価格は倍近く値上がりしたこともあり、農業経営は大変厳しい状況にあります。

福島県では県民割プラスが始まり、経済も徐々に上向きになってきましたが、しっかりとコロナウイルス感染症対策をして、健康で楽しい生活をして頂きたいと思っています。

（廣川文夫）

編集後記